伯和西爾時報

發行所 伯剌西爾時報社
電話 七六四七〇

作人 石井彰
Director M Sameshima

料金 一ヶ年 六十圓
半ヶ年 三十圓
廣告料は御社會大御相談

珈琲 サントス四級 十キロ 一九、七〇〇
リオ七級 一三、二〇〇

爲替 對日 四、六七〇
鄰邦送金 五、六七〇
對米 一九、七七〇
對英 八〇、〇五〇

離間デマ吹つ飛ばし 獨ソ間に友好的握手成る

某國の失望甚大

十日經濟、國境住民關係協定モスクワで調印終る

【伯林十日同盟】曩にバルカン情勢を繞り、一部外國筋で獨ソ離間ニュースが頻りに放送されて居た折柄、獨ソ友好關係增進に重要意義を有する經濟、國境劃定、住民交換の三協定が十日モスクワに於て正式調印を了したが、其の內容は次の如くである

獨ソ間に介在する諸懸案を解決し、兩國の協力を一層緊密化せしめるものである

經濟協定、昨年十月以來、モスクワに於てソ聯側ミコヤン外國貿易人民委員と獨側シュヌーレ經濟使節團長との間に交渉が進められてたもので、新協定は一九三九年二月に締結された獨ソ通商協定に基き、一九四二年八月一日に至る迄の兩國通商を規定、從來の協定に比し輸出入數量の飛躍的增大を規定してる新協定に依つて、獨逸はソ聯に對し機械類を、ソ聯からは原料品石腦油製品、食料品を（十に穀物）を供給せんとするものである

獨ソ國境協定、モロトフ外務人民委員とシューランブルク駐ソ獨大使との間に調印された本協定は、バルト海からイゴルカ河に至る兩國國境を劃定するもので、獨ソの新國境を含てのリトアニア、ポーランド間の國境及び一九二八年一月二十九日及び一九三九年三月二十二日の二回に亘る獨逸、リトアニア間の國境協定に從つて規定するものである

住民交換協定、過般來リガ及びコブノに於て獨ソ兩國間代表に依つて協議が進められてたもので、リトアニア、ラトビア、エストニア三國に居住する獨逸人を獨逸側に轉住せしめ、獨逸側に住むロシア人及びバルト三國人を夫々其の故國に移轉せしめる目的を持ち、新協定に依つて移住を希望するこれ等國民を調印後、二月半內に交換する事になつてる

然して獨官邊ではこの協定の意義を重視し、左の如く語つてる

新協定の成立に依り、獨ソ兩國の友好關係は益々緊密化し、兩國の協力は一層促進されるが、これは獨ソ離間を策してた諸國を痛く失望せしめるであらう

米が國防資材の輸出制限

銅、眞鍮、亞鉛、ニツケル、青銅等に許可制實施

【ワシントン十日同盟】ルーズベルト大統領は十日、銅、眞鍮、青銅、亞鉛、ニツケル、炭酸加里の六種品目に對し、二月三日以後輸出許可制を實施する旨發表した

【ワシントン十日同盟】ルーズベルト大統領は、銅、眞鍮、青銅、亞鉛、ニツケル、炭酸加里六種品目に輸出許可制實施に就き、國防計畫の需要增大に依り上記品目の輸出統制が必要となつた

とのみ簡單に述べ、これが國際關係に就ては、言及する事を避けたが、更に記者側から銅が今回の品目中に加へられたのは、最近ソ聯の關人が著しく增加し、その一部をドイツに轉送してゐるとの報道と關係ありやと追求したに對し、大統領は今回の措置は米國自身の國防用に此等の物資を必要とするに到つたものであると語つた

民主々義擁護のため 米大統領に無限の權限附與

兩院へ提出された武器貸與案內容

（華府十日同盟）十日上下兩院へ提出されたルーズベルト大統領の民主々義擁護武器貸與案は、大統領に對し事實上無制限の權限を附與するもので、その權限附與の內容は大體次の五つの主要點に要約される

一、大統領は他國の防衛が米國自身の國防の爲め緊要と思惟せる場合は如何なる國に對して如何なる種類の軍需資材をも賣却、貸與乃至その他の方法で供給し得る、右軍需資材は今後製造さるべきもの及び既存のものを含む

二、米國と友好關係にある交戰國の軍需機材に米國に於て試驗、修繕、裝備その他の措置を講じてその機能を完全的に發揮せしめる事を得る、例へば、大統領が米國防の爲め必要と認めた場合は、英國の軍艦を米海軍造船所に於て修理し得るが如きである

三、米國と友好關係にある諸外國政府の爲め官廳、民營の諸兵器廠、工場、造船所などに軍需品材の製造を

米海軍 比島司令官着任

【マニラ一日同盟】新米國第十六海軍區、比島、司令長官ハロルド・ビーミス少將は十日午後君任、十一日より職務に就いた、同少將は一九三六年中に大使館付武官に任ぜられた事があり、最近まで戰艦「カリフォルニア號」「三二六〇〇噸」の艦長を勤め、米海軍切つての極東通である

皮肉米にこの矛盾 勞働者の罷業が頻發

ル大統領の措置が見もの

【ニューヨーク十日同盟】險惡な世界情勢の中に國防豫算及び日下畫策進行で軍需產業の能率を計つてる米國に最近皮肉にも各種の罷業續發し、こゝ一兩日ですでにシボレー自動車に罷業勃發、憂慮されてるが、從來勞働階級保護政策を採つて來たルーズベルト政權が、今後軍需生產擴充を控へ、この矛盾に對して如何なる措置に出るかを頗る注目されてる

他の措置を講じてその機能を完全的に發揮せしめる事を得る、例へば、大統領が米國防の爲め必要と認めた場合は、英國の軍艦を米海軍造船所に於て修理し得るが如きである

一、米國と友好關係にある諸外國政府の爲め官廳、民營の諸兵器廠、工場、造船所などに軍需品材の製造を

米海軍 比島司令官着任

【マニラ一日同盟】新米國第十六海軍區、比島、司令長官ハロルド・ビーミス少將は十日午後君任、十一日より職務に就いた、同少將は一九三六年中に大使館付武官に任ぜられた事があり、最近まで戰艦「カリフォルニア號」「三二六〇〇噸」の艦長を勤め、米海軍切つての極東通である

獨機倫敦、マンチエスター、リバプールを猛爆

【ベルリン十日同盟】獨軍司令部發表

一、獨空軍は十日遠くスコツランチエスター、ロンドン、リバプールなど、イングランド南部及び中部地帶の要衝に對して有効なる爆撃を行つた

伊空軍全面的大活躍

ギリシヤ地中海方面に痛爆行ふ

【ローマ十日同盟】伊軍司令部發表

ギリシヤ戰線

一、伊空軍は行進中のギリシヤ軍に重爆撃を加へ、海軍部隊また港灣の軍艦群を砲撃した

地中海方面

一、西部地中海に於て伊空軍爆撃編隊は敵大艦隊を襲ひ主力艦一隻に命中彈を與へた、また他の編隊はマルタ島を空襲し、その海、空軍兩基地に對し有効なる重爆撃を加へ地上の敵五機を爆破し敵艦二隻に命中彈を浴びせた

外務辭令

【東京十一日同盟】外務辭令（十一日）

總力戰研究所員 萩原徹

兼任外務書記官、東亞局勤務を命ず

南洋局兼勤を命ず

依願免本官 總領事（ロンドン） 岸食松

超重大時局に即應 翼賛會改組强化說起る

【東京十一日同盟】各紙所報帝國內外の情勢は、新春と共に愈々重大を加へ、この難關を突破する爲めには、國力の異常なる決意が絕對必要であり、翼賛運動も又この國力の決意を時長期結せむる爲めには愈々强力なる方向を探るべしとの論が各階層に力强く主張されてゐる、翼賛會の改組は即ち翼賛會は何處へ行くかの本質的問題であつて、現在翼賛會をして當初の方針通り高度の政治性を發揮せしむべしとの論と、政治性をなくして「精神」化すべしとの論と二つの大きな流れがある

翼賛會の內部に於ても小磯企劃局長の辭任を繞つて、一部の改組が實行せんとし、議論が爲されてゐる

剛なる檢討が行はれ、政界各方面でも强化の具體策に就て論議が爲されてゐる

義國に供與さるべき資材は現存のもの、注文中のも何れもその數量の限度を規定されてない、但し現存のものを輸出する場合には海軍作戰當局、陸軍參謀本部首腦が、當該機材が最早や米國防力にとり必要では無い旨の保證に署名する事を要する

一、軍需資材中、米國內で取得し得ない場合、大統領は米洲諸國及びカナダその他の友好國からこれを購入する事が出來る

防資材輸出制限に關するシエバード案法及び一九一七年の防諜法に規定された制限は、本法に依るこれ等國防品目の輸出にはこれを無視する

尙以上の外、今回の法案で特に注目される點は次の如きものである

一、軍需資材を戰國に輸送するに當り、米海軍艦艇を戰鬪區域に派遣する權限は含まれてゐない

一、英國乃至その他民主々義國へ加擔した�following、ソ聯の動きは謎とされ、その眞相を知るに世界は苦しんでゐた。

全體十義國對民主々義國の對立は日に激化の一途を辿つてゐるが、その中間に介在するソ聯の動向が、兩陣營死活の鍵を握るものとして重大視され、各々目派へ抱き込んでゐるのは衆知のことである或は英米に斷いた如く、獨伊

日佛印第五次東京會談 十日午後開く 次回は來週

【東京十一日同盟】日、佛印間の第五次東京會談は十日午後約三時間に亘り開かれ、前會は引續き經濟問題に就き具體的討議を行つたが、右に就き情報局では會談は相當の進捗を見た旨發表した、尙次回は來週早々開催の豫定である

米穀配給も切符制か

全國經濟部長會議々題に上る

【東京十一日同盟】十日の全國道、府、縣經濟部長會議第二日「農林省關係」は既報の如く農林省に於て開催されたが、同席上に於て、竹正兵庫縣經濟部長より、米穀配給の切符制を要望せるに對し、湯河原米穀局長より可及的速かに切符配給制を實施する旨の答辯があつたのは注目される

躍進一途のソ聯自動車工業

國防力一單位として顯著な發展

ソ聯の自動車工業界は今日迄しい躍進を續けてゐる、帝政製造開始、遂に一九三八年の生產高は實に二十一万一千台に達し、世界第二位となつたのである、殊にトラックの生產は物凄くゴルキイ工場で現三四年には更にゴルキイ工場を新設してソ聯製をどしどし

在最も主力を擧してゐるのは二噸のトラック「GAZ—五一」型で、最高時速百キロ、エンジンは六シリンダー、七十五馬力といふ代物、同工場は今秋からは「M—一一」型最高時速百二十キロの乘用車を製造の豫定である

スターリン工場は人乘り乘用車「ZIS—一〇一型」バスその他特殊車を製造中であるが、さらに近く三噸の「ZIS—五型」のトラックを製造することとなつてをり、一九四一年中には四十人乘りバス、トラクター、ディーゼル車等を製造する豫定である、かくしてソ聯自動車業は國防力の一單位として、顯著なる發達を示し、第三回五ケ年計畫の終る一九四二年までには年產四十万台をめざしてゐる

綿布相場

【東京十一日同盟】綿布前日引け三四、三五二、三五六、三五九五、三六四六、三六八五、三七〇五

麗水飛行場に巨彈の雨

【〇〇十日同盟】陸軍部隊は十日午前、敵が再建に着手した浙江省中部麗水飛行場を急襲し、飛行場及び附近東部廠舍に巨彈を浴せ、大戰果を收めた

◆武器軍需品を大急ぎでうんとこしらへなければならぬのに米國各地の工場ではストライキが續發、當局頭痛の種となつてゐるが、シボレー自動車工場九千の職工達も一昨日から罷業を始めた。

◆日本在留米國人で既に引揚げたもの七千人であるがまだ千人殘つてゐる。米政府當局は、この千人も早く引揚げさせるであらうと發表した。

◆スペイン、ハンガリー、ルーマニヤが獨伊側に立つて參戰は必然であり、其上一億の强い日本人がついて居るとポロ・チ・イタリヤ紙が發表

有題無題

鐵道省に受品局創設

——初代局長に——堀木名鐵局長任命

【東京十一日同盟】鐵道省では受品局創設に伴ふ人事異動を十一日、左の如く發令した

名古屋鐵道局長 堀木鎌三

鐵道省受品局長任 大阪官房文書課長 高須圭一

名古屋鐵道局長補 高須圭一

英軍三十万 エチオピヤへ上陸

【カイロ十日發】英國軍三十万の精鋭はエチオピヤの某地に上陸し、同國をして伊太利から獨立せしむべく企圖してゐると

これは珍！ 職業紹介所が求人SOS

【浦和發】浦和市の職業紹介所では所員の半數が缺員し、學校卒業者の就職斡旋でいそがしい折柄、まづ自分の方から求人してゐるが、みな工業方面へと希望するので「商賣でもまゝにならぬ」と嘆

泰の九十機編隊 佛印の要衝を痛爆

各所に火災を起す

【バンコック十日同盟】泰空軍は八日の戰以來最大の來襲を見た、機數約九十機、數隊に別れてカンボジヤの、シソホンを初め佛印軍各重要據點を猛襲、各處に火災を起さしめた

東京爲替

【東京十一日同盟】東京爲替變

綿布

【東京十一日同盟】綿布前引け三四

二人草三郎

（七）

小堀倩雄 繪小川

（無聲上映）

橋

（一）

嵐が、夏を追ひやつて、秋の色がめつきり濃くなつた。

けふは、五日前のあの驟雨など、けろりと忘れたやうな、よい日和。空には、鱗雲がかゝイ／＼と、銀翼を閃かせて群れ飛んで、道の邊には、珠沙華の華が眞赤だ。鏡をのべたやうな霞ケ浦を左手に見て、街道をすた／＼小急ぎに旅の男が來る。

一本刀にきりゝと結取りして道中合羽、深く顏を隱すやうに被つた風折笠の下で、

「——矢つ張り駄ふやうにはゆかなかつたのか……牢內のゆか、外も浮き世——」

と呟くのを見れば、正さしくあの夜の草三郎。

「大恩ある御主人の爲、このつたり背中に迫つた男の口から不意打ちの一聲！

「御用だッ！」

ぱつと飛退つて草三郎、懶衣を著てまで、あれほど厭つたお仕合せは、たちまち恒城の旦那樣御一家には來なかつたのだ。何といふ不幸。そしてまた三戰の、血のにじむやうな牢內のあの苦勞も、結句は水の泡だつた——！

身代りになつた草三郎が、明け暮れ牢內からその安穩を願ひ暮した甲斐もなく、蒼惶川牢三郎は、獄を脫ふ赤心からとはいへあの久保田傳之進のことから、士浦獄を浪人する羽目になつて、今ではその行方も知れぬといふ城下の噂だつた。

三日見ぬ間の櫻の浮き世を十九の秋から二十二の今日まで、丸三年を牢內で過ごしてゐる間に、親とも思ふ師主人一家は沒落した——そしてそは、何處で何うしてお暮しなされるか？　若しや故郷でもお母さんか妹の身の上に、何か思ひもかけぬ變事が惹き起つてゐるのではないかと、しきりに胸騷ぎがして、草三郎、ウウと急ぎ足に來かゝる小貝川堤。

いつかあたりはたそがれかけて、白い大月、夢のやうにかゝつて、靄切がチチと啼いてゐる。

かぬ耳許へ——

「神妙にしろ！」

「御用だッ！」

絕對絕命、一時逃れとは知りながら、

「御、御免なせえ、何かのお間違ひで——」

とエふのへ、押ッ冠せて、

「動れ！上州無宿卯吉の白藏、常に御お縄を頂戴しろッ」

「えッ……？」

「白藏！　御用ッ」

意外な言葉——だが、次の瞬間！牢內でも瓜二つと云はれてゐた牢內の獄本、妙義の白藏の聲が腹裏を撲めて閃いた。と同時に、あの嵐の破牢の夜、水門口へ泳ぎついた時、丸で見知らぬ深編笠の僧が、おゝ、甘くいつたな小田の渡、間山の洞穴に支度がしてあるぞ。早く行け！」と自分に敬へてくれたのを、今日まで不思議にして來たその謎が、ふつと解けてゆく思ひがした。

のない橋の上。（し、しまつた！）と、嘯吸には思案もつかぬ耳許へ——

「神妙にしろ！」

「御用だッ！」

絕對絕命、一時逃れとは知りながら、

「御、御免なせえ、何かのお間違ひで——」

とエふのへ、押ッ冠せて、

「動れ！上州無宿卯吉の白藏、常に御お縄を頂戴しろッ」

「えッ……？」

「白藏！　御用ッ」

意外な言葉——だが、次の瞬間！牢內でも瓜二つと云はれてゐた牢內の獄本、妙義の白藏の聲が腹裏を撲めて閃いた。と同時に、あの嵐の破牢の夜、水門口へ泳ぎついた時、丸で見知らぬ深編笠の僧が、おゝ、甘くいつたな小田の渡、間山の洞穴に支度がしてあるぞ。早く行け！」と自分に敬へてくれたのを、今日まで不思議にして來たその謎が、ふつと解けてゆく思ひがした。

蘭印の資源開發に參加
兩國の繁榮を招致せん
芳澤使節・在留民歡迎會上の挨拶

【バタビア十日同盟】日、蘭印會談は、る三日の芳澤ファンモーク會談に依り近日中に開催されることゝなつたが、芳澤使節は九日夜在留邦人の歡迎晩餐會にのぞみ日本は日、蘭は兩國協同の利益の上にたつて會談にのぞむものである、と次の如く挨拶した

近隣國際的不安の秋は各國間に於る富の不均衡に胚胎するものである、特たる國日本が、特てる國にして地理的にも日本に近接する蘭印の天然資源開發に參加せんとする事は當然である、日、蘭印會談に當り余は日本の一方的要求のみを目指して臨んだ國は無く日本、蘭印相互の利益を目標として之に臨むものである、余は未だ開發されざる蘭印の資源が日本の手に依り開發される事は日本のみならず、蘭印自體にも利益を齎すものであり、蘭印の國富牧人の增加を來すものと信じてる、余は蘭印側が眼前の小事にとらはれず將來の利益を考慮し、日本の立場をよく了解せん事を希望するものである

廣東の人心一變
日滿支三國提携を謳歌
阿南陸軍次官の南支佛印視察談

【福岡十日同盟】南支、佛印方面を視察中だつた阿南陸軍次官は十日午後福岡北より空路太刀洗着歸福、左の視察談を發表した

去る二日東京を出發、廣東海南島、ハノイ等の地方を視察したが、現地軍は極めて軍紀嚴正、士氣旺盛にして各軍務に精勤してゐるのを認識し大いに意を强ふした、廣東は皇軍不斷の努力に依り治安も入いに確立、支那人有力者も續々歸還し、市は事變前の狀態に復興し、非常に活氣を呈してゐる、特に先般南京に於て調印を見たる支那政府の精神を廣東の有識支那人が進んで或は演說會により、民衆に普及徹底を圖り、日滿支提携の實現に眞摯なる努力を爲しつゝあるのは、事變の道義的精神が支那人に理解されて來た證據であつて、革命の發祥地たる廣東に於て現の如く清新溌剌たる運動が展開しつゝある事は誠に喜びとする處である、東洋平和確立の大事業も日本人はこの精神を信念として堅持し、着々實行して行くならば決して難事ではないと確信した、海南島では皇軍、海軍の非常な努力に依り諸般の施設が大いに進捗し、治安も又着々確立を見つゝある

佛印では孫に皇軍の威武嚴たるを見て感激を新にした、又佛印當局、佛軍司令官とも親交したが何れも皇軍に對する感謝を昂めて來たやうに思はれる、殊に安南人は皇軍の嚴たる姿を目の邊りに見て、日本の偉大さに無限な感銘の心を寄せてゐる事は注目される

大伯（中山縣）の敵遊擊隊
小癪！我封鎖網犯す
皇軍・斷乎これを潰滅

【廣東十日同盟】南支艦隊報道部長談

中山縣大伯に蠢動する袁部の所謂遊擊隊は、昨年末來再び軍需品を西江附近クリークより水陸運搬し、又海上を大廻りして大虎に據點を置き、泰山縣辛村、都解方面に密輸ルートを再開するに至り、併つて昨年十二月下旬海軍〇〇隊は陸戰隊と協力して、西江西岸の大掃蕩を行ふと共に、海軍部隊は大伯の據點地區の大察擊を爲し、遂入なる掃蕩を與へたるも更に徹底的殲滅を計り、新年早々より連日これが攻擊、擊滅をなしつゝありしが、九日早朝より南支飛行隊が起爆、間髪斗門、南門、大赤嶺敵陣地に對し爆彈の雨を降らせ、敵司令部其の他の軍隊居住位なものである。彼は暗然たる面持を仰いで、三菱と云ふ大樹の蔭から斷然飛び退いてしまつた。

立志傳中の人蜂谷

（二）

蜂谷

吾輔は宛然碁客が定石を打つ樣に酌んで行くのが嫌め、もやんと極まつて居る。それを一々寸分の間違ひなしに遂行したのであるから、一寸驚嘆人の出來ない所がある。

私は彼の少年時代から渡伯する迄のことを或人から聞いたことがある。多少の聞きもらしや脱處ひがあるかも知れないが、彼が如何に刻苦勵精の人であるかを知ることが出來る。

蜂谷は居村の小學校を出る迄は幸福そのものであつたと云つてよいが、神戸商業學校に這入つてから年一年困難の度が加はつて行つた。それは彼の父が事業好きで、絹糸製造業や銅山に手を出したのが悉く惨敗して到底彼の學費を支辨する事が出來なかつたからである。從て叔父に當る某海軍將校（現在は後備海軍大佐である由）が一部を負擔し足らざる分は當時神戸に米屋を開業して居た長兄一男が支出したと云ふ事である。長兄として苦るしい遣り繰のなかから捻出するので、彼はその代償として米を搗いて得意先を配達し廻はつたと云ふことである。

彼は

神戸商業を卒業すると大阪の三菱銀行に這入つた。少年時代の幸福と青春期の勞苦は彼に反動を與へた。金と云ふものゝ價値をしみ〳〵と身に染みて感じながらも酒を飲むことを覺えた。たまには酒盛を狹斜の巷に明らすこともあり、下手な都々逸の一つもうなる樣になつた。あの鹿爪らしい象牙の面の樣な彼の口からも都々逸かもれると云ふことは殆ど想像もつかない皮肉な現象である。しかし彼の行爲は茲にも宜石を打つ碁客の心掘を忘れなかつた。月給と消費する金高とが何時も釣合ひに行はれて、寸分の狂ひがなく月末には必ず幾何かのサルドが殘つた。彼はそのサルドを搗つて月給日の前日迄、弟の尊一や鍵九郎を連れて遊びに出た。そうして其日は何の憂慮もなく財布の底を叩いてしまうのを例とした。

こん

な風で彼は何時迄たつても一文無しであつた。金の價値を人一倍知つて居る彼にとつてこれはたまらない苦痛であつた。三菱銀行で働いて居る月給は全部横立てゝも知れたものである、普通の商業學校出身者の進し得る限度は精々課長位が定石を卸いて、三菱と云ふ大樹の蔭から斷然飛び退いてしまつた。

當時

長兄一男はウインクレル商會と云ふ神戸でも有數な獨逸人貿易商の名古屋出張所主任であつた。彼は早速この長兄に自己の將來を實易に托したい旨を告げて相談したが適當な働口が見つからなかつた。百方探し廻はつた結果、陶器の製造と外國商館買込を遣つて居る井元商店と云ふのが、店員なら要らないが小僧としてなら使つてもよいと云ふことである。小なりと雖も三菱の銀行員を捨てこの給料は年一年インテリが身を下して小僧になりきれないのが普通である。しかし彼は茲でも碁には井目フーリンから置き出され、働いて働いて働き覆滅陣

「美術聯盟」生る
全洋畫團體を傘下に

【東京發】全日本の洋畫團體を打つて一丸とし新日本の文化建設の强力なる一翼たらんとして今度「美術團體聯盟」が成立することになつた、これは各美術團體を構成單位とし各團體相互間の聯絡をはかることを目的としてゐるが、事務所は敢て杉並區和田本町八三一木村莊八氏方に置いてゐる

現在の加盟團體は一水會、二科會、東光會、旺玄社、太平洋畫會、光風會、春陽會、新制作協會の九團體で更に他に獨立美術、日本版畫協會、日本水彩畫會、第一美術協會、春台美術作家協會、美術文化協會等の諸團體が加盟方を勸誘されてゐるが、何れも近く參加するものと見られてゐる

八田氏の受諾見す
池尾・芳藏氏に決定
日本發送電總裁の後任

【東京十一日同盟】日本發送電總裁增田次郎氏の辭表は既報の如く依り、村田逓相は同氏の後任として八田嘉明氏に白羽の矢をたてたが、八田氏は後任に難色を示したので、改めて日本電力社長池尾芳藏氏を起用することに決定し、十日近衛首相の了解を得た、近く開議を經て正式發令される筈である。

切實要望の聲昂る
鮮産鰯油の內地移入
近く內外協定打合會議

【東京十一日同盟】鮮産鰯油の內外地配分計畫は、目下總督府に於て商工、農林兩省との間に折衝を進めてゐるが、內外地の魚油需要は益々逼迫し、鮮産鰯油の需要は益々極めてゐるので、之が最適的決定までには餘日を要するものと見られてゐる、我國全體の十五年度の魚油生產高は、內地一割五分、朝鮮は一割の減油の需要激增に伴つて、魚收を見てゐるのに對し、工化油も需要が激增しつゝあり、然も豆、糠、菜種油等の種物油の供給減の爲め、この方面で喰ふ獸も相當あるので、在庫品の拂底と共に、內地に於る工化油原料が深刻化しつゝあり、鮮産鰯油に對する需要が激增して來たわけである一方鮮內事情は內地移入には應じ難い情勢にある、結局從來の實績に徴し、工業の需要を考慮して妥協に至るのではないかと見られてゐる、餘內外地配分計畫に對する總督府側の案は、既に內地に示してあるので、內地の態度如何により決定ならべく、近く內外地協定打合せ會議が開催の運びとなる模樣である

私財を投じて
化學研究所を設立
野口日本窒素社長の企し

【京城十一日同盟】日本窒素社長野口遵氏は、今回私財二千五百万円を投じて野口研究所を設立する事になつた、同研究所は化學及その應用に關する研究をなし、我國化學工業の進行を計る目的の下に

生糸相場

【東京十一日同盟】濱糸前引け、一三五六、一三六四、一三七〇、一三七二、一三七三

女流作家連の眞心
「十佳選」を献納
美川きよ女史海軍省訪る

【東京九日同盟】海の勇士に送らうと美川きよ女史等は九日海軍省を訪れ十人の女流作家の近作を集めた「十佳選」五百部を献納して來たので、同省では陸軍部隊の近作を集めた海の勇士慰問集と共に近く海軍病院などに配布することになつた

決定に愼重期す
國民大會の召集日

【南京十日同盟】國民大會の召集期日を決定すべき國民實施委員會第三次全體會議は、十日開催されたが、期日の決定は次回に延期し、更に愼重研究を重ねる事となつた

藤原航空、萩原貯金
兩長官勇退を決意

【東京十一日同盟】航空廳長官藤原喜明、貯金廳長官萩原丈男兩氏は、後進に途を開く爲め勇退を決意し、十一日、村田逓相に辭意を表明した

封鎖宣言の威力
南支海鷲猛威揮ふ

【海口九日同盟】南支艦隊報道部發表に依れば南支海軍飛行機隊は舊臘二十五日支那方面艦隊司令長官宛に依る封鎖地區一帶を八回空襲、敵艦船父通機關含軍用船に可し痛爆を加へ多大の戰果を收めた

◇　◇　◇

曉闇を衝き覆滅陣
敵數千一堪りもなし
羅卓英麾下の軍潰ゆ

【〇〇前線十一日同盟】市汉街、新村城、廣福墟等に蟠居精鋭部隊は、十日深更突如〇〇基地を襲撃、十一日拂曉、蠢動中の羅卓英麾下の敵第百五師の主力數千を覆滅すべく陸路倉田部隊の車爆擊機と協力隨處に潜敵を撃破、敵を一網した、戰果左の如し

我が渡邊、木下、野坂、小林、福山、村上、六角、門脇の各部隊は、十日深更突如〇〇基地を襲撃、十一日拂曉、敵同二二〇〇、捕虜一二〇、鹵獲品重輕機二四、迫擊砲二、小銃一七〇、其の他多數

胃腸に エビオス

CONSERVE INALTERADA
a Beleza de seus Olhos!
Não deixe que a fadiga roube a beleza de seu olhar. Use, diàriamente, Lavolho que clareia os olhos, tornando-os limpidos e atraentes.
LAVOLHO
PARA OS SEUS OLHOS

尋人廣告

左記ノ者ノ現住所承知致度ニ付本人又ハ御存知ノ向ハ至急當館迄御一報相煩度シ

記

茨城縣新治郡中志筑　廣瀨安助
千葉縣君津郡環村大字高溝三十六番地　田要助（着信）
元住所　ソロカバナ線アシス驛　吉田長久（着信）
山口縣吉敷郡大歳村大字矢原五五八　藤田節雄
廣島縣賀茂郡安登村　坂井岩美（滿洲事件行賞關係金ノ件）

昭和十六年一月四日
在サンパウロ大日本帝國總領事館
C. NSULADO GERAL DO JAPão
C. Postal, 1167 - São Paulo - Brasil

會計法律事務一般
土橋法律事務所
（日伯產業會社內）
聖市シルヴェイラ・マルチンス街七二番
電話二一九三八九　郵函三三二九
◆午前九時より十一時まで◆

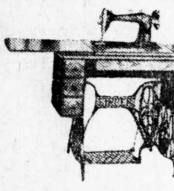
Dr. Friedrich Müller
R. Barão Itapetininga, 50, 7º
耳鼻咽喉科專門
頭痛、鼻漬、整形外科、三十年の經驗あり
診察平日午后二時半より六時迄、土曜は九時より午后三時迄
電話四一一七四〇
至急ヘ一二五九三

DR. HEITOR FENICIO
Av. São João 536 6º andar sala 2
Fone 4-1188 – São Paulo
淋病
最新治療法ゲタリング法を適用すれば如何なる淋病も極期間に完全に治療致します
廉價

日伯齒科醫院
Av. Rangel pestana, 13-3.º and. Salas 304, 305, 306, 307
Esquina de Largo da Sé
一般歯科
レントゲン科
ロアルーア科
口腔外科
歯科醫學士
村上眞一郎
大阪歯科醫學士
林博之
Dr. S. I. Pereira
電話 11-8004
自宅電話 9-3[illegible]

北大醫學士
今田求
リンス市ピンテウン・デ・アブリール・オスピタール街角
電話一四三　郵函二〇三

新式四カベタ型
一臺あります
御望みの方は御來社下さい
時報商事部



中古ミシン
中古ミシン ガー
中村刺繍時報社
中央線ヶ面
在住各位

社告

謹啓　時下愈々御隆昌之段奉賀候
陳者幣社外交員　中川忠吉儀
今回貴地方訪問致させ候に付ては宜敷御配慮の程偏に願申上候
敬具
昭和十六年一月十日
東京刺繍時報社

肝臟の膽汁を活潑ならしめよ
食養生の要なく毎朝元氣に滿ちて出る法
膽汁が若し止まりたらば消化不良となり胃内に不純なガスが溜り便秘を伴ひ眩暈の衰弱を招き生命の惱みとなり夢通の手段では癒らず唯肝臟特効 Carter's 藥あるのみ、これ用ひば即座に癒り元氣は、技的に恢復する PILULAS CARTER'S が最適急効ひらはよ、藥物ありて在意　一ケ三ミレ

日伯情報社
不肖等在社中は、私的に格別の御厚情を辱ふし有難く厚く御禮申上げます。就而ましては今般一身上の都合並びに種々考ふるところあり右記の通り退社致しました今日迄何等御厚志に預ひ深ざりしを深くお詫び申上げると同時に右御挨拶を兼ね連名を以て御通知申上げます。
昭和十六年一月十日
（退社順、
昭和十五年二月　三浦助時
同　三月　重藤仁助
同　十月　吉村健
同　河野丈詞
同　佐野四郎
同　十二月　井東貞夫
同　山本景清
同　郷正夫
同　坂本良夫
同　平井信量
外元日伯情報社　社員一同

會葬御禮
次男松治儀眞て病氣の處藥石効なく去る十二月二十九日午後一時カーザ・サウデにて永眠仕り候間生前厚知諸賢に謹告仕候
尚葬儀の際は遠路態々御會葬被下且つ過分の御香料等賜り候段乍略儀以紙上厚く御禮申上候
サントス市
父　玉城松太郎
長男同　松雨
二男同　松勝
叔父玉城　松一
叔母仲村渠クシ
親戚總代
仲村渠廣郎
仲村渠良信
仲宗根正通
砂邊　英一
友人總代
吳屋　德盛
上江洲孝松
安慶谷孝保
小里　智盛
知念　福元
上原　直義
田原　秀輝
田辛　榮藏
謹啓

農産物委託賣買は
ブラジル海興へ
Rua Cantareira Nº546 Telephone 4-6544　Caixa postal 1602　São Paulo

募集
在伯邦人商工案內（農家案內）
調査員　數名
希望者は履歴書（寫眞添付）持參の上來談ヶ乞ふ、但し保證人を要す
日伯公論社
聖市カラムル街一一五
（電車二三番終點）

Dr. Alarico Franco Caluby
ADVOGADO E
Tsuguo Kishimoto
TRADUTOR PUBLICO
Escritorio: R. José Bonifacio, 233
3.o and. salas 310/312 - Tel. 2-1137
C. P. 1124 São Paulo

法律一般
翻譯
日本アラリコ法律事務所
公証職譯人　岸本永男
顧問　アラリコ・ブランコ・カルヴァリー
事務所　聖市ボニファシオ街二三三番
三階三一〇—三一二號室
郵函一一二四　電話二一一一三七

船内に見本を陳列
工業國日本を世界に紹介

母國戰時下の機械工業界の優秀性を廣く海外に示すとともに絶えざる日援を希望してゐる南米諸國と機械による友好の結びを深めようと、全日本機械工聯では明けて早々を期し選りすぐった機械製品、部分品をずらりと並べた海外機械見本市船を南米へ繰り出すことを母國で協議されてゐたが、愈々それが決定、大阪商船本社へ配船斡旋方を求めた處同社では「もんてびでお丸」をこれに充てることゝなつた

船内百坪を機械展覽場に仕立て、ロスアンゼルス經由大西洋沿ひに南米の港々を歷訪してこれら各國斯界のお歷々を招いてつぶさに工業國日本の姿を見てもらはうといふのである

因に同機械見本市は來る四月廿四日橫濱出帆の「もんてびでお丸」船内で寄港毎に催されるものでサントス港例催は六月七日頃である

惡條件下に敢闘
伯國代表三種目に一位を獲得

大阪陸協主管ブラジル那人交歡陸上競技會は十一月卅日午後一時半甲子園競技場で

交歡上
競技會

當國陸連物産中果物は一九二〇年以來急激に增產し海外輸出品の增加したものは他々あるが、その内の一つにバナナがある、伯國のバナナは一九三年には十万噸足らずの輸出量しかなかつたのが一九三九年には一躍十八万噸以上に上つてゐる、次に鳳梨は一九二九年度に九万噸の生產しかなかつたのが一九三九年には十三万八千噸以上に上り、ラランヂャは一九二九年には千百万箱だつたのが三九年度には三千五百六十六万箱に上つてゐる

急激增加した
伯國の果物類

トラック、フイールド共にしめりコンデイション不良（風速東南二メートル六〇）なるも南軍選手の意氣軒昂ブラジル選手は僅六名をもつて村社大宇、門田、矢田、亀谷等の奮行、この日前夜來の降雨で日本第一線選手を相手によく敢闘、百十メートル障碍、棒高、砲丸の三種に一位を獲得、競技は和氣靄々裏に三時四十分終了した

砲丸では玉置相からず好調で、近畿代表野村、林の追撃を輕くあしらひつつ第々十二メートル廿七を投擲し朝を飾つた、次で棒高跳では石田（ブラジル那人）鶴谷、甲山（近畿）の三巴戰は、最初から白熱化し、三メートル七〇で關西の朝者亀谷、甲山ともに落ち、バーは三メートル八五に上げられ、自己の持つ最高記錄樹立に拍車をかけたがあせり過ぎてならず、トラック競技の白眉は四百メートルに於る門田、峯の一騎打

多彩な話題を乘せ
ぶえのす丸母國に着く

大阪商船南米航路ぶえのすあいれすす丸は、蘭領一日橫濱に入港したが、同船で南米ヴェネズエラ國駐剖初代公使山形清氏をはじめ、令孃二人を伴つたパナマ駐在領事大谷彌七氏、アマゾニア產業組合長上塚司氏ほ伯國花祭市支店支配人神崎昌太氏などがあり、外人客では駐日ブラジル副領事ルイス・ソーザ・バンディラ氏夫妻やチリーでスキー・コーチに當つてゐたオット・サントナ君が日本旅行協會の招聘で、今冬赤倉温泉のスキー教師として訪日した

またサントス生れの瀧澤仁（一〇）同博（八）の伯國二世の子供二人連れが、知合ひの松岡元氏に伴はれて郷里長野縣小縣郡神科村で、日本式教育をうけるため歸國したなど多彩な顔觸れで賑やかだつた

混血の踊子
紐育の明星「大里園子」

今ニューヨークの人氣を奪つてゐる世界的なバジル・ロシア舞踊團の中に、日本人を父にもちアメリカ人を母とするその名も大里園子と呼ぶ二十一歳の混血兒の乙女が一座中隨一の明星として、斷然他のスターたちを壓し、ニューヨーク人の人氣を沸き立たせてゐる

このロシア舞踊團は、最近歐洲よりアメリカに渡つて來たものであり、十一月中旬から約五十一週間ほどで連日滿員の好評を博してゐるが、その一スターである大里園子は「永遠の微ひ」「放蕩息子」などまだあまりアメリカに知られてゐない舞踊を踊りと獨特な解釋と得意な技巧の秘かなさぼき方その全身に流れる異國情緒タップリな雰圍氣により見る人をして恍惚たらしめる余り褒めることを知らないニューヨーク・タイムスの演藝記者テイアチン氏もつひに「彼女のエキゾチックな調子は、今シーズン舞踊界御物のうちその最高級をなすもの」とロをきはめて褒めちぎつてゐる、この明るかなニュースは最近とかく憂鬱になりがちなニューヨークの那人社會に驚期せざる美しい贈り物として歡迎されてゐる

この大里園子はシカゴ在住の寫眞師大里昌宿氏の長女に生れ、母はフランス・アイルランド系のアメリカ人、橫濱や歐洲にも住んだこともあり、七歳のころより舞踊を學び、その道の大家であるアドルフ・ボエームに師事して今日の成功をなさめるに至つたものである

中山忠太郎氏
卅年ぶりで錦衣歸郷

來る二月一日サントス出帆のもんてびでお丸で歸國する人々の中に聖市末廣町中山忠太郎氏がある、氏は夫人、令孃を伴れ移民三十數ぶりの歸國である

氏は熊國縣鶴賀郡の產、黑田候に仕へた從人で富豪井上家を母方に持つて生れ長ずるに及んで商業方面に向ひ穀物仲買をしてゐたが、

像て海外飛躍の志望を抱いてゐた氏が二十七才の時、宿望を果す時がやつて來た即ち竹村第五回移民として大正二年十一月廿二日サントスに上陸した、爾後伯國をチアナ方面のコロノ生活を終へて出聖したのは大正七年である、聖聖後コンデ・ド・ビニヤール街に旅館を開業春風秋雨廿三年今日に及んでゐる、一九二八年福岡縣海外協會が設置されるや、聖市支部長に推されて以來献身的の努力を續けて來た、氏は父義俠心に富み氏に助けられた者は擧げるに遑なしと云はれてゐる

「嘉瑞は中山氏」

雜記帳

ブラジル司法省では去る十一日告示を以て今後ブラジル入國の外國人旅行者又は一時滯在者の國籍書には、普通印紙でなく、移植民用印紙を貼附すべき旨を發表した

—◆—

中央郵便局では、來る廿四日まで毎日午後零時から三時まで上半期の郵便料金を受附てゐる

—◆—

ブエノスからの來電に依ると伯國政府が北米から購入した七台の爆撃機を操縦し、歸途に十一日當市に到着したブラジル飛行士は大歡迎を受けてゐる、一行はけふ天候さへ順調であれば、目出度南米を一周してリオに歸ることになつてゐる

—◆—

パウルー市の州立中學の第三四組の試驗結果が發表されたが、それに依ると兩組共主席合格者は日本人第二世で占められてゐる、即ち第三組主席は笠井幸造君で六十二點、第四組の名貴友則君は六十五點を獲得した

—◆—

新生の意氣旺んな東山野球チームでは、チームを二分して昨日午後三時よりカ中尾球場に於て、今度歸國する事になつた高杉氏の送別野球を行つた

—◆—

相撲協會では初日の收入一万七百三十一円を大日本忠魂顯彰會に献納した

大相撲春場所
二日目

二十六百一年の春場所大相撲二日目初日西方四詰のリード、東西制覇活三場所目、兩軍一勝一負の後を受けて今場所は決勝戰だ、それに加へて初日の思はぬ番狂はせに人氣は強やか上に勢き返る

東18－31西
8【二日目得點】17

五ッ又も十俵に這ふ
初日からの番狂せに人氣沸騰

初日の思はぬ番狂はせに人氣は俄千二百人、月島第三校八百人、荒川眞地校三百人、下谷中盛校四百人その他約二千の兒童が陣取り豆行司豆呼出しの序二段相撲に可愛い聲援を送り、早くも小學生デーの盛況

◆

いつの場所でも病氣か怪俄で多少の休傷者があるが、今場所も東の老勇藤ノ里は風邪で西の大關、大浪共に休場で初日すでに三人の休場者を出したが、東の小結出羽湊は前日玉ノ海との一戰に右足關節の捻を切り、二日目から休場相手の桂川に白星を與へた

◆

四詰大衆席の人氣ものの小學生デーの盛況

◆

夜の十一時半木戸開き二、三階席は力士後援會、各會社一千名の青年團などつめかけ十時十時ごろには殘數を餘いて員の大入り

中入後勝負

二瀨川（突出し）　陸奥里
九ケ錦（寄倒し）　和歌森
增位山（突出し）　金湊
錦谷（吊出し）　大邱山
倭岩（上手投）　備前山
小島川（同　）　駒の里
小松山（下手捻）　四海波
勝ノ川（上手投）　十三錦
清奚川（打棄り）　鶴島洋
玉ノ海（寄倒し）　松ノ里
鯱ノ里（上手投）　大和錦
松浦潟（掬ひ投）　櫻錦

戰の跡

照國　相模突張つて防み
相模川　相模に左上手を引くを照、右下手に褌をひき組模の上手投を打つを褌をひき つけ左から攻めて出足に寄り立てるの、投げが利かず相模いらつて倒もと強引に手投げを打つた時、佐賀島　佐賀花（上手投）　綾若　桂川（不戰勝）　出羽湊　神東山（吊出し）　旭川　名寄岩（寄倒し）　綾昇　肥州山（吊出し）　櫛甲　照國（吊出し）　相模川　芸藝海（突出し）　磐石　等置山（打棄り）　富士嶽　叩込み）　五ッ島　前出山（寄切り）　青葉山　羽黑山（同　）　龍王山　男女川（同　）　鶴ケ嶺　双葉山（上手投）　兩國

二日目得點
東　八點　西　十七點

照國　相模突張つて防み
相模川　相模に左上手を引くを照、右下手に褌をひき組模の上手投を打つを褌をひき つけ左から攻めて出足に寄り立てるの、投げが利かず相模いらつて倒もと強引に手投げを打つた時、

富士嶽　立ちやや猛然な突張り合つて左四五ッの頭を下げて烈しく押すを、富士右を喰かせて耐へ、なほもと五ッの押すところを富士右に體を開きながら叩けば

五ッ島　張り合つて左四五ッの頭を下げて烈しく押すを、富士右を喰かせて耐へ、なほもと五ッの押すところを富士右に體を開きながら叩けば、富士嶽の突張りに這ふを腰に抱きつき、ゲイと吊り出して照國の勝ちは腰、出足の比類無さに驚かされる

羽黑山　突張り合つて左四五ッの頭を下げて烈しく押すを、富士右を喰かせて耐へ、なほもと五ッの押すところを富士右に體を開きながら叩けば、羽黑猛然黑柱に寄り立てれば、龍王の耐へて左に廻り込まうとする時一氣に寄切る

男女川　男女川もよつと突張つて右に上手を引くや左を當て、一氣に西土俵に寄り立て寄り切つて男女の勝、此の勝負立上つて二砂と云ふアッケ無さ

龍王山　一つ羽黑捻つた時龍王の巨體大いに輝いて危ふかつたが良く耐へして、上手投げにと廻り込んで土俵中央で一呼吸の後、羽黑猛然黑柱に寄り立てれば、龍王の耐へて左に廻り込まうとする時一氣に寄切る

鶴ケ嶺　男女川もよつと突張つて右に上手を引くや左を當て、一氣に西土俵に寄り立て寄り切つて男女の勝、此の勝負立上つて二砂と云ふアッケ無さ

雙葉山　雙葉猛烈に上突張りを喰はせて兩國の出足を阻みながら、兩國の肩越しに猛撃を伸して上手を引くや腰を引いて兩國に下手を引かせず、右で攻寄ると見せて大きく上手投げを打てば勝事に極る

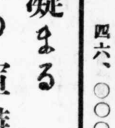
兩國　雙葉猛烈に上突張りを喰はせて兩國の出足を阻みながら、兩國の肩越しに猛撃を伸して上手を引くや腰を引いて兩國に下手を引かせず、右で攻寄ると見せて大きく上手投げを打てば勝事に極る

伯國の「イマズ」蚜虫退治の
アフイス殺虫劑
●御注意　市中にカゼイン石灰不良品を安價にて賣却して居る者もありますが當方のは特別精選のものですから御買求の節は必ず日伯產業會社製と御指定願ひます
シユンボの節約に効果ある粘着劑
驚クホドヨク切レル
精選カゼイン石灰・稻刈豐作鎌
日伯產業會社
Rua Silveira Martins, 72
Caixa Posta 1, 33 39
São Paulo

【献金】
パウリスタ延長線フェルナンデアス青年會では、國防献金募集のためシネマの夕を催したが、その總益金三百六五銭七百レースを得たので、母國献金として昨日本社に依頼して來たので、早速本社では其の手續をとつた

苦學生募集
市内配達に從事する者　二名
御希望の方は午前七時までに本社工場へ御來談下さい
時報社發送部

重要商品市況
一月十日
品名　價格
○バタタ　六〇キロ
アマレーラエスペシアール　四五、四六、
○スペリオール　五五、五六
○マンヂョカ粉五瓶三三瓶
アルフアフア　キロ　三三〇　三五〇
○小麥粉一級　ノミナル
○スペリオール　五五、五六
○マンヂョカ粉五瓶三三瓶
アルフアフア　キロ　三〇　三三〇
小麥粉一級　四八　四九
砂糖　六〇キロ入
俵上　七一、七二
上等　六八、六九
○プエジョン　六〇キロ
△新ムラチンニョ　スペリオール　八〇　八二
エスペシヤル　五五　五六
ポン　ノミナル
レグラール　ノミナル
△コーレス　六〇キロ
ブ・グラード　七八　八〇
シロシンニョ　九二　九五
シュシビンエョ　五九　六〇
六〇キロ
△ミリョ　アマレリエョ　二一、九　二二
アマレロ　二一、五　二六
アマレロン　二一、五　二二、六
△アローズアグリア　アマレロン　二一、五　二二、六
エスペシアール　七七　七八
スペリオール　七二　七三
ポン　六六　六七
ブランコ　七二　七四
エスペシアール　七二　七四



棉の相場
サンパウロ棉花取引所建値
一月十日
買値　四級　四五、〇〇〇　賣値　四五、五〇〇
五級　〇〇〇　四五、五〇〇
六級　〇〇〇　四六、〇〇〇
單位　十五キロ

雨降つて地凝まる
女同志の喧嘩
荒市場一月十日
品名　價格
○バタタ　六〇キロ
アマレーラエスペシアール　四五、四六、
○スペリオール　五五、五六
○マンヂョカ粉五瓶三三瓶
アルフアフア　キロ　三三〇　三五〇
○小麥粉一級　ノミナル
○スペリオール　五五、五六
○マンヂョカ粉五瓶三三瓶
アルフアフア　キロ　三〇　三三〇
小麥粉一級　四八　四九
玉子　二二〇〇　二二〇〇〇

CINE CAPITOLIO
◇絶讃の邦画◇
—東寶・原節子演主—
"東京の女性"
ROMANCE DE TOKIO
アドラーベル
インポストーラ
（メトロ）
ニュースD.E.B.15番
日本の首都を背景に生活の爲め敢然職業戰線に立つうら若き女性の逞ましき意力とロマンスを畫き得て妙！
本月13日—14日—15日
但し（13日15日はマチネーあり）
—（午後1時半より）—
ポルトローナ　2$300
バルコン　1$500
シネ・カピトリオ
サンジョアキン街557　電話7-4376

CASA NIPPON
R. Domingos de Morães, 1017
店員募集
伯國出生の青年數名
拾八歳より貳拾歳まで
希望の方は履歴書持參あれ
陶磁器、玩具
其他雜貨商
大村商店
電話七—一六二六番

求野菜作り
獨身青年五名
家族者二家族
照會はルア、ジャカリーベ五二　サンタカーザ前
山内商店へ

求運轉手
よく經驗あり獨身者である方（履歴書持參の事）を至急求めます。SR. CARDOSO
Produto de Lavoura Ltda.
R. Libero Badaró, 73 2º andar

募集
大丁、指物師の方
至急雇ひ
聖市ルア、メ・グロリヤ一一七番
電話二一九二〇五
加藤兼一

急募
バツサドール貳名
イビランガ區
ポン・パストール街一一五番
チンツラリヤ
ポン・パストール

募集
職人及び見習
至急入用
コンセレーロ
ラマーリョ街一七〇番
チンツラリア　モデルナ
電話二一一七七三

ブラジル育ちの子供にはブラジル出來の立派な
子供の園
一冊三ミル、一年冊ミル
發行所　時報社

愈々時期が來ました
來年の準備にかゝりませう
ノロエスラ線リンス市より九キロ私有耕地「フアゼンダタクアルスウ」中の一部、五十アルケーレスをアレンダします。
百アルケーレスを賣り出します。
御希望の方は直接御訪ね下さい。
ノロエスラ線リンス市　郵國　二〇三
内山荒太

正確
法律相談、離婚、遺産、金融投資相談、賣手仕舞、證書手帖其の他諸官廳役所への手續一切
迅速
相馬事務所
土地周旋（郊外・奥地）
聖市フェリックス・デ・オリベーラ街二一番
七階五號室　郵函　四四一八
電話　二一七六〇九

改良された
唐箕（とうみ）
販賣元　時報商事部
一台　一百三十圓
特長
輕迅、ベネーラ製置、穀粒と砂土塊は全然別々に撰選される

Redação - Rua Ragundes, 190
Telephone 7-4670
Caixa Postal, 11
Director M. Samesima

NOTICIAS DO BRASIL

Proprietario SEISAKU KUROISHI

Assignatura Anno ... 50$000
„ Semestre ... 30$000
Numero de dia ... 300 reis
Gerente S. Kuroishi
Redator-chefe M. Yendo

ANNO XXIV — S. PAULO — DOMINGO 12 de JANEIRO de 1941 — DIARIO No 2377

Nosso aparelhamento telefonico

O telefone está historicamente ligado ao Brasil, pois é preciso não esquecer que, ao servir-se de um dos primeiros aparelhos eficientes e inventados por Bell, na Exposição de Filadelfia, muito concorreu Pedro II para chamar sôbre a novidade a atenção do público.

Daí para cá quanto progresso! O telefone tornou-se uma das mais preciosas comodidades da vida moderna. E' possivel que, graças a ele, as relações sociais, desde as familiares até as políticas, tenham perdido muito em materia de documentação dos seus episodios. Ninguem hoje, pelo menos na mesma cidade, não se comunica mais por escrito. Conversa-se pelo telefone ou então, por seu intermedio, se ajustam encontros que os modernos transportes urbanos por sua vez tornaram muito mais faceis.

O telefone vence hoje, de resto, as maiores distancias. E a possibilidade de uma pessoa em Londres ou Nova York comunicar-se oralmente com outra no Rio ou em S. Paulo só não maravilha por que faz parte ja da rotina do nosso tempo. Assim, para os contemporaneos, defeitos nas linhas urbanas, interurbanas ou internacionais espantam muito mais do que o funcionamento normal das mesmas.

A 1.º de janeiro de 1939, as estatisticas revelavam que existiam no mundo 41,990.317 telefones, dos quais 2 milhões se encontravam nos Estados Unidos, ou sejam 48,5% do total. Depois vinha a Alemanha com 4 milhões e a Inglaterra com 3 milhões. Mais de um milhão de telefones havia na França, no Japão, no Canadá e na Russia.

Entretanto, nosso país está muito afastado dessa classe de milionarios do telefone. Nossos aparelhos, entre publicos e oficiaes, contam-se apenas por 256.467, o que representa 0,62% do total mundial. Todávia, o desenvolvimento das nossas redes telefonicas é recente. Mesmo relativamente pequeno como é o numero de aparelhos que possuimos, eles já nos mostram a admiraveis qualidades resultantes de seu emprego. Aliás, entre nós ha por assim dizer uma região de densidade telefonica e outra de escassés de telefones. A primeira compreende o Distrito Federal, S. Paulo e Minas; a segunda se dilata pelo resto do vasto territorio.

E' preciso notar igualmente que dificuldades têm surgido a expansão dos serviços telefonicos, como no caso destae capital, onde a obtenção de um aparelho constitue verdadeiro privilegio. Quando o material necessario se fabricar no Brasil, o que pode não estar longe, tudo será com certeza diferente.

Na America do Sul, o primeiro lugar na lista dos possuidores de telefones é a Argentina, onde cada grupo de 100 habitantes dispõe de 3,13 telefones, ao passo que no Brasil essa mesma proporção é de 0,59 aparelhos.

Todavia, nossos vizinhos bolivianos não contam mais do que 2.595 telefones em todo o país, o que é praticamente o extremo oposto aos Estados Unidos.

De qualquer maneira, o telefone é uma das comodidades da vida moderna que mais lhe consulta as necessidades. Com a rapidez do seu progresso, o Brasil não tardará a enfileirar-se entre os mirionarios telefonicos.

PÁTRIA

«PATRIA NÃO E' APENAS A EXTENSÃO TERRITORIAL DOTADA DE GRANDES RECURSOS NATURAIS E ADMIRADA PELA IMPONENCIA DOS SEUS PANORAMAS; E', ACIMA DE TUDO, A COMUNIDADE DE LAÇOS AFETIVOS E INTERESES ECONOMICOS. E SO' EXISTE, EM VERDADE, QUANDO SE IMPÕE A INTELIGENCIA E AO CORAÇÃO DO POVO COMO A MAIS ALTA REPRESENTAÇÃO DAS SUAS VIRTTUDES E ENERGIAS CRIADORAS.»

GETULIO VARGAS

REFORÇADA A DEFESA AÉREA DO JAPÃO

TOKIO. O gabinete japonez resolveu, por unanimidade e mediante proposta do ministro da Guerra, general Togo, que seja reforçada a defesa aerea do paiz.

O general Togo já elaborou o programa que deve ser executado. O govêrno deverá, além disso, apresentar immediatamente o orçamento da força aérea, incluindo-o no plano de mobilização.

* * * * *

TOKIO. O ministro da Guerra manifestou-se, hoje, sôbre a necessidade de ser creada uma organização de defesa aérea, em todo o paiz.

Essa medida foi proposta após a conferencia mantida entre o primeiro ministro, principe Konoye, os ministros da defesa nacional e do Interior japonez. A actual situação requer immediatos preparativos a serem feitos em todo o Japão contra a guerra aérea. Serão inuteis as victorias alcançadas no ar, mar e terra, se a mãe-patria puder ser affectada pelos ataques aéreos. A nação deve estár educada quanto aos processos de defesa. Abrigos anti-aéreos serão construidos em todas as cidades, especialmente nos centros industriaes. Na guerra moderna as ilhas estão sujeitas ás mesmas contingencias dos continentes visto serem faceis as incursões aéreas, como ja agora ficou demonstrado. A instrução do povo deve ser fomentada por uma organização especial, que manterá uma estreita colaboração com o govêrno. A defesa deverá ser ensinada a todo o povo japonez.

BRASIL

«O BRASIL NÃO E' INGLÊS NEM ALEMÃO E' UM PAIS SOBERANO, QUE FAZ RESPEITAR AS SUAS LEIS E DEFENDE OS SEUS INTÊRESSES. O BRASIL E' BRASILLEIRO.»

GETULIO VARGAS

ASSOCIAÇÃO BRASILEIRA DE ESTUDANTES

BOLSAS DE ESTUDOS

Communicam-nos da Associação Brasileira de Estudantes:

«A Associação Brasileira de Estudantes realisará no dia 15 do corrente, ás 20 horas e meia, á rua Riachuelo n. 13, uma reunião em que serão apresentadas as bases para a distribuição annual das bolsas de estudo e da organização dos centros de interesse, gratuitos aos que desejam se candidatar a essas bolsas.

Dada a importancia do assumpto são convidados não somente os associados como os estudantes em geral e todos os que se interessam por esse valioso auxiliar do aparelhamento educacional contemporaneo. O progresso do Japão e principalmente dos Estados Unidos muito deve á instituição das bolsas de estudo que nesses paizes são distribuidas a estudantes de todas as edades e cursos.

ARROZ E TOMATE ... "JAPONESES"

O Brasil, longe de importar, é exportador de arroz de excelente qualidade.

Não obstante isso, ouvemos desta ou daquela marca de arroz japonêz que abarrota o mercado carioca.

A mesma coisa está agora sucedendo com o tomate japonês, de tal ou qual qualidade, que aqui é dado em larga escala ao consumo.

Isto apenas comprova a notorice capacidade dos filhos do Imperio do Sol Nascente nos dominios da agricultura, pois quer o arroz, quer o tomate, são por êles plantados e colhidos na terra brasileira, sempre feraz e dadivosa para quantos sabem cultiva-la.

O Brasil de hoje, de hontem e de amanhã

(13)

O representante do Exército no IX Congresso de Geografia Brasileira, cujas reuniões se encerraram, há poucos dias, fez em Florianopólis, uma conferência sôbre «A contribuição do Exército na obra da geografia nacional», ilustrada com a projeção de filmes naturais, conferência essa que despertou o maior interêsse entre os congressistas, determinando solicitações no sentido de ser a mesma reproduzida nesta capital, antes de dada á publicidade impressa, solicitações essas que foram atendidas pelo titular da pasta da Guerra, que autorizou o coronel Jaguaribe Gomes de Mattos a fazer a referida reprodução.

As fôrças armadas nacionais estiveram sempre á frente de tôdas as iniciativas para formar o Brasil o mais homogeneamente civilizado que é possivel. Da entrada das nossas fôrças armadas para o interior do pais dizem eloquentemente a sediação da Escola de Aprendizes Marinheiros de Pirapora, ás margens do São Francisco, e a de unidade das fôrças de terra em Ipameri, no Estado de Goiás, quase na extremidade dos trilhos ferroviarios que demandam aquele Estado. Na patriótica tarefa de ligar o Sul ao Norte da Republica, através dos caudais do Araguaia e do Tocantins, iniciada pelo Presidente Getulio Vargas com a sua recente viagem á ilha do Bananal, as forças armadas cooperarão de maneira eficiente.

A geografia e a história do Brasil que estão sendo, neste momento estudadas com muito interêsse, tiveram sempre grande carinho, tiveram sempre grandes servidores e grandes estudiosos nos oficiais do nosso Exército e da nossa Marinha. Com o registro do que ocorreu no passado e do que ocorre no presente, pode-se estar certo de que não esmorecerá jámais a obra das nossas fôrças armadas em prol do desenvolvimento e do progresso das mais afastadas regiões brasileiras, de acôrdo com o programa do Estado Novo, tão brilhantemente executado pelo benemérito Presidente Getulio Vargas.

A ASSOCIAÇÃO COMERCIAL — ORGÃO CONSULTIVO DO GOVERNO

TEVE A MELHOR REPERCUSSÃO O DECRETO DO PRESIDENTE GETULIO VARGAS, concedendo á Associação Comercial do Rio de Janeiro as prerrogativas de órgão consultivo administração.

O Estado Novo governa dentro da realidade brasileira, tratando a coisa publica segundo normas práticas, e aproveitando a experiência e o conselho dos técnicos e entendidos. Não estamos mais na época da demagogia estéril, da parolagem infindável das assembléias. As diretrizes da nova politica construtora são as da consulta ás fontes vivas onde pode colher os elementos seguros que a habilitem ás iniciativas felizes nos vários quadros da administração. O estudo dos assuntos que interessam á atualidade brasileira faz-se no ambiente propicio dos gabinetes, entre os órgãos técnicos especializados cujo funcionamento a Constituição autorizou. E assim pode o Govêrno trilhar sempre uma rota segura, com um programa bem definido e coerente, que nenhuma agitação estranha perturbará.

Para êsse fim, a lei cogita não só das entidades propriamente administrativas, mas ainda dos órgãos consultivos que podem ser certos sodalicios de classe como a Associação Comercial do Rio de Janeiro.

Todos conhecemos a atuação que a câmara dos nossos comerciantes vem tendo através os longos anos de sua existência, seu papel preponderante na solução de tudo o que interessa ás nossas classes produtoras. Na Associação Comercial, selecionam-se verdadeiras competências que se estimulam no estudo dos mais variados e dificeis problemas da nossa producção e consumo. Por isso nada mais justo que o Govêrno recorra a essas capacidades para o estudo e solução de tudo aquillo que se relacione com as profissões por elas representadas.

ASPECTOS HISTORICOS DO ESTADO NOVO

SILVIO PEIXOTO

(10)

E o sertão foi ficando entregue a si mesmo, desamparado de vias de comunicações, esquecido dos poderes publicos como se o Brasil fosse apenas aquilo que se vê do mar.

Causas geograficas concorreram para êsse estado de coisas.

Nossa vastidão territorial não nos garante um só clima.

As zonas economicas são diferentes.

O Rio Grande do Sul não pode produzir o que produz o amazonas.

Se, por um lado, essa diversidade de climas nos faculta a diversidade de produtos, por outro, lado dificulta enormemente a tarefa do administrador.

Criam-se assim, problemas peculiares, de lenta e dificil solução.

Para resolvê-los urge em primeiro lugar, estabelecer os vinculos da mais perfeita comunhão espiritual, a-fim-de que a unidade psicológica possa suprir todos os possiveis fatores de diferenciação.

A essa parte, além de um sem numero de outras medidas, atendeu o Govêrno com a extinção das bandeiras e simbolos estaduais.

Um simbolo só: — «o mais lindo pavilhão do mundo», na frase de Rui Barbosa, o «ouri-verde pendão», do verso de Castro Alves.

Em segundo lugar, urge preparar a solidariedade economica, o que está sendo um dos capitulos principais da obra do Estado Novo, por meio de unidade de vistas administrativas, isto é, por meio de reunião periodica dos delegados do poder central, que recebem instruções e as distribuem pelas respectivas unidades federativas.

Sempre nos faltou, nos tempos empiricos do passado, essa distribuição equitativa de cuidados.

Havia regiões favorecidas e regiões entregues á sua propria sorte, não raro á sua própria miséria.

Os governadores faziam politica, entravam em cambalachos, faziam conchavos que, tem o bafejo do poder central, não conseguiriam a satisfação de seus apetites.

Chegamos á suprema irrisão de ter uma célula federativa «inimiga» da outra.

Questões de limites, como se os Estados fossem nações autônomas, acirravam ódios.

Corria sangue, o sangue generoso de irmãos, destinado a vitalizar o solo da Pátria e dessa forma estupidamente derramado.

Tudo isso era consequencia da politica ha sorlida, que fomentava os regionalismos e contribuia para impedir o trabalho de homogeneização da nacionalidade.

Hoje, porém, que espetáculo nos oferece o Brasil dinâmico do Estado Novo?

De Norte a Sul, de Leste a Oeste, todos os filhos desta terra abençoada contemplam emocionalmente o mesmo pavilhão, obedecem ao mesmo principio diretor, comungam nos mesmos ideais de solidariedade mutua.

O Govêrno dal como um coração que distribue equivalentemente o sangue pelas partes do corpo, atende ao mesmo tempo aos problemas da borracha, na Amazonia, á açudagem do Nordeste, ao sal do Rio Grande do Norte, ao riacau da Baia, ao saneamento da baixada fluminense, ás rodovias do Sul, á nacionalização do ensino em Santa Catarina, ás construções monumentais na cidade do Rio de Janeiro.

E uma poderosa vontade, presente em toda parte, onde quer que exista um brasileiro em situação de ser protegido.

E para que nada faltasse, absolutamente nada, a êsse plano de coordenação de atividades oficiais, o próprio Presidente da Republica enfrenta os riscos e incômodos de viagens periódicas aos mais recônditos do pais chegando até a pontos só antes percorridos pelo benemérito general Rondon.

Note se que somente o Presidente Afonso Penna realizou, na Republica velha, uma viagem de inspeção pelo litoral, mas para uma rápida visão de conjunto das necessidades locais.

O Presidente Getulio Vargas levou sua dedicação até ao contacto com os proprios selvicolas do nosso «hinterland»!

詩

新春詠草

＝聖市短歌會＝

カンピーナス吟行を企てゝ分け雛し
るたが紙に果せなかつたので　富吉　好人
新年短歌會は、一月五日聖市
郊外の閑寂境櫻田園荘、美沙
子氏夫妻宅で催す事になつた
氣づかれた空模様も、この
日晴れ一同伸麻呂氏宅に勢揃
へして出發した。新年の事と
て、やむなく缺席した向きも
あつたが、同勢六名夫妻が心
づくしの歓待を受けて歌筵を
敷く。選評終つて秘、ひそか
に携へた一編を取出す者など
あつて興を碎へ、暮色家路を
閉ゾるに至つて心殘しつゝ散
會した。互選の結果を示せば
左の通りである。

▲　仲麻呂

家族の死祭めて戰場の兄にの
み知らさざりしとふ書信に泣
かゆ
故郷ゆ姪死せりとの書信ありて
天へ死にし姪を偲べばはるか
なり佛桑花咲く宇宙間島はも

▲　櫻田美沙子

濱木槿の花過ぎゆくを惜しみ
つゝ踊ゆ踊り來まさむ夫の待
たるゝ
年の瀬を昨日今日降る雨やま
ず夕べ忙しく魚料理り居り
遅ひ來てはじめて咲ける濱木
槿の花は朝夕見つゝ飽かざり
故郷の方言のみ使ふ人ありて
大方は吾にきゝ分け難し

▲　富吉　好人

うす曇き電燈の下に吾子の顔
紅く眼らみ熟睡して居り
二年ぶりに訪ひ來し君が庵に
は草木が茂り池など堀れり

▲　魔　朱　王

風ゆせし午後のしゞまに音も
なく崩るゝ雲の峯はきらひつ
眞夏陽の色をそのまゝ身に浴
びて仰ぎ咲けるは日照草のみ
風邪をかこちこもれる部屋に
射し込める光線にほこりの搖
れやまぬかも

▲　秋野　愁

細雨の降れむとするや白雲の
動かずみえてゆるく動きぬ
無花果に似し實をつけし熱帯
樹の廣葉のしげみ涼風吹くも

▲　櫻田　陽荘

在りし日のいさかひ多き事ど
もを心に詫びて酒たむけたり
大いなる理想抱きて移り住み
しが棄民と思ふは哀しからず
や

▲　濱田良一郎

バス徐々に登りつめたる高原
に馬三四頭草食み居たり

▲　武本　由夫

朝光の明るき庭に向日葵の產
毛なす芯け雷もちたり
朝霧のたゆたふ墓所の杉群に
小鳥の聲は透りて聞ゆ
山半の群乳重たげに歩みをり
夏草生ひしくこの丘原に

以上（由夫記）

強い女　マツヨ　村上しげを

明治の女は
野にある可憐な菫を感じ
大正の女は
夕宵に咲く月見草を愛し
昭和の女は
夏の日をはね返すひまはりを
愛す
太く逞しい莖
眼前する櫻な野生林
淡い夢さへ持たぬ女
憧れのない女は淋しい

人の世の感傷を　あうむ

かたる故に
淋し
おうむよ
其の思想を知らず
神を求めて
彷る姿は
哀し
人類よ
神の御旨を知らず

たたかひ　毛利　なか

櫛の
緑の線に沿つて
轡馬が引く
赫き一線！

互の鎬に
疲れはしん〳〵と
寂を刻む
パイヤ帽下の汗顔に
微風
農民ならでは味わえぬ
炎天下の快事だ
西空はるかの
雲一點が
見る見る夕立を運び……
十二月の日日は
農民と雑草の
確かに戦争だ——。

「嵐のボビー」　ボビー・ベティ

夜に入つて
嵐になつた
雷から
雲と風と雨と雷の
おとづれ……
——いやだなア、こはいよう——
ボビー が泣いてるやうだ
——ボビー、しつかりおしよ
しばらくの間なんだよ——
けど、ボビーは
書間見た、あのボビーは
大丈夫かしら……
明日はクリスマスなんだのに
……
せつかく、それまで咲かせた
いと思つたのに……
あゝ、ボビー

（一九四一年クリスマスの前夜）

無題　モチ　農文士

同じ地球に生れ
同じ人間でありながら
僕等には希望さへなく
輝かしい未來もない
……
幾度か挙動は
移りに移り
またも新しい年が
近づかうとする……
……
ああ僕達、二世は
何になれば良いといふのだ
懐しい十八の年も
意義深い二十六百年も
あと半ケ月である

皇國を想ふ　モルンビー　吉田　壽男

一、天皇陛下の
御爲めと
正義日本の
奉戰に散りし
生命は
櫻花
一、皇紀は
二千六百年
既に
守る銃後の
熱誠は
燃え溢れて
大陸へ
目ざましき
新發展も
想ふ時
偉大なり
祖國日本を
拓士の使命
身は南米に
朽ちるとも
我等勵まん
其の任務

世紀の英雄

（上海上海）　番　伸二

夏目　路

（七十四）

戰場だより（十二）

黒河ホテル食堂と酌女等の
黒河劇場をつなぐ大通りを一
寸横にそれるとこの市の郵便
局がある。郵便局は旗竿をも
つて楽しい存在だ。
ハルビンからの便り、親し
い者の消息、そして待ちに待
つた旅費の入つてゐる書留
希望と楽しみは一切留置にな
つてそこにつながつてゐるの
だ。
眞月は外へ出ると吹きつけ
られた風に目を細めながら
「郵便局に寄つてみない？」
「寄つてもいゝけれど、他の
人みたいに書留一つ来るでな
しでせう」
と、言つても二人は既に高
い踵の靴を鳴らして郵便局に
向つてゐる。
「ねえ、さつき、お金を置い
て行つた人、誰かしら？」
「決定つてゐるちがやないの？
レヂオの人よ」
「まあ、あの番頭さんなの？
滿洲の青年で親切ね、あたし
驚然、五族協和だわ」
「滿洲人つて無でもあ、じゃ
ないでせうけれど、それにし
てもあたし達の顔を默つて聞
いてゐてそつと親切にしてく
れるなんて嬉い氣持ちね。蛇
度この市の模範青年よ。……
あのひと、いつくるかしら」
「二十四五ぢやないッ」
「年齢ぢやないわよ。今夜何
時劇場へ來るかといふのよ」
「あゝ、さつきの約束ね」
さうかう話してゐるうちに
郵便局の前に來てしまつた。
二人が局には入つて行くと、
若い局員は既に彼女等を見知
つてゐるらしく、
「手紙が來てますよ」
と、沿子に封書を差し出し
た。それをのぞきこんだ眞月
は、
「あら、俊氏ね。お金を送つ
て來てくれたかも知れなくつ
てよ」
「そんな事無いの、こつちが
苦しいなんて敎へて無いので
すもの」
黒河省、黒河市郵便局留
東京女歌劇團
山村岩子様　塚田原太郎
かう、しるされた手紙の封
を切つてみる。
——御便りを拜見して、僕
はどれだけ安心したか。
この手紙黒河であなたの手
に入ると思つて書いてゐます
すがどうだらうか、心配です。黒河と言へば、ソ滿國
境の緊張點ですが、町の容
子はどうですか？
僕等移民地は、僕も憂鬱の
人々もつゝがなく、使命遂
進に努力してゐますから御
安心下さい。
ときに、あなたと家庭を作
る事の諾否を東京の家に訊
き合はしました所、家では
賛意を表してくれました。
ですから今度旅を終へて歸
つて來たら、僕はあなたを
大陸の花嫁として迎へねば
なりますまい。
こゝに、たゞ心配な事は、
僕の妹、美惠子の事ですが
これについて東京の家では
何かロを緘して語らぬやう
なものがあります。
何か、あつたに相違ないの
です。あつたとすれば
妹から一言ある筈です。
僕と妹との仲と言ふのは
兄妹以上の兄妹でして、あ
なたと同じ位に妹を愛し
てゐる。
あゝ、駅は、よそへそれて
しまひました。さあ、僕は
あなたを迎へる用意を今宵
もせねばなりますまい。
あなたを迎へる用意とは何
か？わかりますか。
一日も早く僕は花嫁の姿を
見たいし、見るためには用
意を——。
おはりにかの子女史、その
他の方によろしく。
二伸、必ず返事を下さい。